

平成19年4月 1日から

平成20年3月31日まで

平成19年度（第61年度）

事業報告書・決算書

財団法人 三越厚生事業団

平成 19 年度（第 61 年度）事業報告

今年度は 事業団設立 61 年目の節目にあたる年として 事業団の新しい方向性を模索し 事業団の存立基盤を見定めていく 極めて重要な年でありました。

平成 20 年から施行される「公益法人改革三法」に基づく新たな事業認定基準に 当事業団の現在の公益事業内容がしっかり合致するよう 検討を加えながら 事業のさらなる充実を図ること、また 医療制度改革による「特定健診・保健指導」の開始にあたり 事業団としての組織的な対応と高質な健診の堅持に努めること、を主要な年度課題として事業の推進を図りました。

特筆すべき 実施事項を 総括いたしますと、はじめに 8 月 30 日・31 日の 2 日間に行われた「第 48 回日本人間ドッグ学会学術大会」を当事業団が主催いたしました。中村常務理事を学術大会長に ロイヤルパークホテルと日本橋三越劇場を主会場に 海外からのドクターも交えて 3700 余名の参加をいただき、有益 かつ充実した学術大会を運営することができ、当事業団の存在を広く社会にアピールすることができました。

次に、従来 外部健診施設機能評価機関から「受診者プライバシーの保護の徹底を図るべき」と指摘された事項を中心に 施設改修工事と空調設備改善工事を実施しました。健診問診室・健診診察室の区画化・防音化、婦人科診察室の新区画化・ドア新設 等 従来プライバシー保護の観点から課題となっていた施設の課題を抜本的に改善し、当事業団健診施設の品質をさらに高めることができました。

また、本年度の新規事業として 医学研究助成事業とは別に 特別養護老人ホーム等社会福祉施設における健康推進のための研究に援助する事業を実施いたしましたが、現場が抱える現実的課題を具体的に解決する為の研究に対し当事業団が援助活動を行ったことは極めて有意義なことであるとの高い評価をいただきました。

次に 当事業団の対処すべき課題ではありますが、最大の課題は事業団収支構造の改善であります。ここ数年 収支赤字を蓄積された運用資産の取り崩しでカバーしている状態が続いており、流動性の高い資産が減少しています。一方で健診内容の高度化に伴う機器買い替えや施設設備の更新・変更も山積しており、資金需要は高まっています。もとより公益法人としては 余分な剰余金は本意とするところではなく、公益事業にしっかり費消していく方向ではありますが、適正な準備金を保持し事業の長期的存続と発展に備えるという観点から、事業収支 3 ヶ年計画・設備投資 3 ヶ年計画の立案と検証をもとにして 当事業団の事業内容を抜本的に見直し「選択と集中」による事業再構築をはかる という 当事業団の本質的課題に取り組んでいかなければならないと認識しております。

I 寄附行為事項

1. 生活習慣病の予防、診断治療に関する研究事業（寄附行為第4条第1号事業）

当事業団役員並びに職員による研究活動

（1）第48回日本人間ドック学会学術大会を主催した。

○開催日程	8月30日（木）・31日（金）	
○会場	ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋） 三越劇場（東京都中央区日本橋）	
○学術大会長	常務理事 中村 治雄	
○テーマ	『 Aim high in Edo 』	
○開催内容	招待講演 2題 教育講演 8題 一般公開講座 2題 ランチョンセミナー 8題 一般演題 299題 計 319題	
○参加人数		3,748名
（内有料参加者	3,564名）	
	学会招待者	90名
	一般参加者	3,633名
	報道関係者	25名

（2）臨床的研究の発表

平成18年度に実施した各種健診の統計的調査と観察成績を「事業年報」第34号に発表し、各職域健康保険組合及び関連財団法人等77団体へ配布した。

（3）平成18年度各部門研究とその発表会の開催

○実施日	4月26日（木）
○会場	エステック情報ビル19階 S会議室
○発表	発表は10題で審査の結果以下の3題について表彰した。

1位 医師 細合 浩司

「メタボリックシンドロームの診断基準について」

2位 医師部薬剤師 丸田 陽子

「ジェネリック医薬品に関する動向」

3位 健康推進部診療受付課 相川 晶子

「プラス300計画 ～一般健診者を増加させるための施策～より「再検査受診者情報の把握施策の立案・実施」について」

(4) 当財団医師等職員の研究成果発表は以下の通り。

①国際学会における演題発表

氏 名	職 種	参加月	名 称	演 題	開催地
中村 治雄	医 師	10月	MEGA Symposium	Primary prevention of CVD: New Evidence from Japan -The result from MEGA Study	台湾 (台北)
中村 治雄	医 師	10月	MEGA Symposium	Primary prevention of cardiovascular diseases among hypercholesterolemic Japanese	台湾 (台中)
中村 治雄	医 師	10月	MEGA Symposium	Primary prevention of CVD: New Evidence from Japan -The result from MEGA Study	台湾 (高雄)
中村 治雄	医 師	10月	The 5th International Conference on "Nutrition and Aging"	動脈硬化性疾患の一次予防ーメタボリックシンドロームを含めてー	東京都
Kyoichi Mizuno, Haruo Nakamura, for the MEGA Study Group	医 師	10月	XVI International Symposium on DRUGS AFFECTING LIPID METABOLISM	New risk score for cardiovascular events developed from the MEGA study in Japanese, a large-scale primary prevention trial with pravastatin	アメリカ
Haruo Nakamura, MEGA Group	医 師	11月	The American Heart Association Scientific sessions 2007	Marked reduction in cardiovascular events with pravastatin in hypercholesterolemic patients with mild or moderate chronic kidney disease.	アメリカ
Yukihiko Omiyama, Fumitaka Ohsuzu, Haruo Nakamura, et al.	医 師	11月	The American Heart Association Scientific sessions 2007	Elevated brain natriuretic peptide and c-reactive protein interactively increased cardiovascular and ALL-cause mortality risk in hemodialysis patients.	アメリカ
横山 雅子	医 師	11月	Joint symposium of Japanese and Korean Headache Societies	Associations between headache and stress, alcohol drinking, exercise, sleep, and comorbid health conditions in a Japanese population	東京都

②当事業団医師の外部講演会 (医師、医療従事者等への啓蒙活動)

氏 名	参加月	名 称	演 題	開催地
中村 治雄	5月	第一三共㈱主催学術講演会	高脂血症治療による一次予防試験から学んだこと	佐賀県
横山 雅子	5月	第21回三越健康セミナー	頭痛ー心配な頭痛、心配でない頭痛	東京都
中村 治雄	7月	第19回西武地区動脈硬化研究会	LDL コレステロールをどうみるか	埼玉県
横山 雅子	7月	武田薬品工業㈱・クラヤ三星堂㈱共催合同勉強会	頭痛診療：国際頭痛学会分類を踏まえて	東京都

中村 治雄	10月	第5回栄養とエイジング国際会議	動脈硬化性疾患の一次予防ーメタボリック シンドロームを含めてー	東京都
横山 雅子	10月	第5回多摩市民のための健康講座	気になる頭痛とめまい	東京都
中村 治雄	12月	アステラス製薬(株)・ファイザー(株)共催 スタチンの上手な使い方	スタチンの上手な使い方	東京都
横山 雅子	12月	パーキンソン病友の会あさお 講演会	パーキンソン病との付き合い方ー新しい内 服薬の知識を含めてー	神奈川県
横山 雅子	3月	第一三共(株)・東邦薬品(株)共催 合同勉強会	頭痛その原因と対処の仕方	東京都
横山 雅子	3月	三越銀座店社員研修①	こころの健康	東京都
横山 雅子	3月	三越銀座店社員研修②	こころの健康	東京都

③学会における演題発表

氏 名	参加月	名 称	演 題
近藤 修二	6月	第49回日本老年医学会学術集会	Metabolic syndrome の構成項目数による 心機能の相違
大橋 靖雄 中村 治雄	7月	第39回日本動脈硬化学会総会・学術 集会 シンポジウム	日本人における、実用的な虚血性心疾患の 発症リスク予測スコア：MEGA Study より
樫山 幸彦 中村 治雄 他	7月	第39回日本動脈硬化学会総会・学術 集会 シンポジウム	Associations between plasma osteopontin (OPN) level and coronary artery disease (CAD)
寺本 民生 中村 治雄	7月	第39回日本動脈硬化学会総会・学術 集会	虚血性心疾患のリスク抑制と LDL コレステ ロール低下との関連ーMEGA Study からの新 しい知見ー
大森 玲子 中村 治雄 他	7月	第39回日本動脈硬化学会総会・学術 集会	不安定狭心症症例の HPLC 陰イオンカラム 測定法による酸化 LDL 分画値
船津 和夫	8月	第48回日本人間ドック学会学術大会	酸化ストレスと消化器疾患
船津 和夫, 斗米 馨, 山下 毅, 細合 浩司, 横山 雅子, 近藤 修二, 中村 治雄, 他	8月	第48回日本人間ドック学会学術大会	健診者におけるびらん性および非びらん性 胃食道逆流症の臨床的検討
近藤 修二	8月	第48回日本人間ドック学会学術大会	ストレスの心機能に与える影響について
細合 浩司	8月	第48回日本人間ドック学会学術大会	メタボリックシンドロームの診断基準に関 してー健診データからの考察
横山 雅子	8月	第48回日本人間ドック学会学術大会	健康診断の問診票における頭痛の有病率と その背景因子
中村 治雄	11月	第28回日本臨床薬理学会 シンポジウム	スタチンと横紋筋融解症

水野 杏一 中村 治雄	11月	第28回日本臨床薬理学会 シンポジウム	高脂血症一次予防 (MEGA Study)
船津 和夫, 山下 毅, 細合 浩司, 横山 雅子, 近藤 修二, 斗米 馨, 本間 優, 中村 治雄	1月	日本総合健診医学会第36回大会	健診受診者における逆流性食道炎の臨床的 検討

④当事業団医師の発表論文

論 文 名	氏 名	掲 載 雑 誌 名
高コレステロール血症における医師主導型臨床研究—MEGA Study を参考に—	中村 治雄	医学のあゆみ 2007: 221: 847-852
Primary prevention of cardiovascular diseases among hypercholesterolemic Japanese with a low dose of pravastatin.	H. Nakamura, for the MEGA Study Group	Atherosclerosis Supplements 8(2007)13-17
第48回日本人間ドック学会学術大会を終えて—その功と罪—	中村 治雄	人間ドック 2007; 22: 5
動脈硬化予防の日本における RCT-MEGA Study—	中村 治雄	動脈硬化予防 2007; 6: 15-21
Abdominal aortic plaques with the presence and extent of coronary artery stenosis.	K. Ashida, Y. Momiya, H. Nakamura, et al.	J. Cardiovascular Magnetic Res. 2007; 9: 855-861
Effect of bezafibrate therapy on atherosclerotic aortic plaques detected by MRI in dyslipidemic patients with hypertriglyceridemia.	M. Ayaori, Y. Momiya, H. Nakamura, et al.	Atherosclerosis 2008; 196: 425-433
Usefulness of pravastatin in primary prevention of cardiovascular events in women. Analysis of the management of elevated cholesterol in the primary prevention group of adult Japanese (MEGA Study)	K. Mizuno, H. Nakamura, for the MEGA Study Group	Circulation 2008; 117: 494-502
プラバスタチンの効果—MEGA Study を中心に—	中村治雄、山下毅、細合浩司	成人病と生活習慣病 2008; 38: 161-166
メタボリックシンドローム P1-12	中村 治雄	ヘルシーメモ メタボリックシンドローム、NHK サービスセンター
我が国における高脂血症に関する EBM —MEGA Study を中心に— P381-382	中村 治雄	循環器内科治療ガイドライン —最新の診療指針— 総合医学社 平成20年3月発行
脂質異常症、肥満症	中村 治雄	日本大百科全集 小学館クリエイティブ 2007.8

健診者におけるびらん性および非びらん性 胃食道逆流症の臨床的検討	船津 和夫, 斗米 馨, 栗原 浩次, 本間 優、山下 毅, 細合 浩司, 横山 雅子, 近藤 修二、中村 治雄	人間ドック 22(5):811-817 2008
心エコー所見正常者の拡張能を含む心機能の 男女差。	近藤 修二	超音波医学 2007 ; 34 : 343-8.
生活習慣、ストレスとPropionibacterium acnes の皮膚菌体量との関連に関する横断研究 ーサルコイドーシスの症例対照研究にむけて	横山 徹爾 横山 雅子 他	厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 特定疾患の疫学に関する研究班 平成18年度 総括分担研究報告書
Genetic polymorphisms of alcohol and aldehyde dehydrogenases, and drinking, smoking and diet in Japanese men with oral and pharyngeal squamous cell carcinoma	Asakage T, Yokoyama M, et al.	Carcinogenesis 2007 Apr;28(4):865-74

第1号事業 総計 事業費 **4,584**千円 予算 **10,858**千円

2. 生活習慣病その他重要な疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（同条第2号事業）

（1）低額集団健診事業（事業費 481,056千円）

- ・快適に健診を受けていただくために、プライバシー確保を中心とした施設改修や空調設備の改善を実施した。
- ・予防医学面から地域、職域を対象とした総合健診活動及び家庭の主婦を中心とした女性健診を実施し、生活習慣病その他重要な疾病の予防及び早期発見に努めると共に、健診結果に基づき健診者の生活指導を積極的に行い健康の保持、増進に寄与した。

平成19年度の実施状況は次の通りである。

集団健診 165社又は団体

○生活習慣病健診	9,835名（前年度 9,416名）
○女性健診	2,921名（前年度 3,122名）
○生活習慣病健診特別コース	114名（前年度 112名）
計	12,870名（前年度 12,650名）

（2）生活習慣病健診報告懇話会（事業費 930千円）

当事業団で集団健診を行っている企業並びに健康保険組合の参加を得て、小講演会を開催すると共に生活習慣病健診所見に基づいて参加者と意見の交換を行い、今後の健診事業活動の参考とすべく開催された。

実施日：平成19年12月13日（木）

場所：新宿京王プラザホテル本館43階「コメット」「スターライト」

参加人数：61名

報告会：1) 司会・進行 三越診療所所長 船津 和夫
開会に当って：「今なぜ特定健診・特定保健指導なのか」

- 2) 報告事項 三越診療所副所長 山下 毅
厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム」への取り組み・
オプション検査料金改定・施設改修工事他について
- 3) 質疑応答
- 4) 挨拶・報告事項 三越厚生事業団常務理事 中村 治雄
「最近のトピックスーAHAでの発表ーCKDをめぐる」

(3) 第1回健康推進事業研究援助（事業費 2,040千円）

東京都内における特別養護老人ホーム等の社会福祉法人を対象として、施設入所者の健康を適切に維持または増進することに関する研究計画に対して援助金を交付した。

対象施設：東京都所管による社会福祉法人（特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・知的障害者更正施設）301法人

交付施設：社会福祉法人白十字会 特別養護老人ホーム 白十字ホーム

研究課題：「特別養護老人ホームにおける摂食・嚥下能力の低下に対応した食形態の選択が与える誤嚥性肺炎予防効果について」

研究代表者：白十字特別養護老人ホーム 言語聴覚士 田中 治子

援助金額：200万円

第2号事業 総計 事業費 **484,028**千円 予算 **497,791**千円

3. 生活習慣病その他重要な疾病の予防、診断、治療に関する助成事業（同条第3号事業）

(1) 第35回三越医学研究助成（助成金総額 1,250万円）

平成19年度三越医学研究助成並びに留学渡航費助成実行委員会開催

開催日：研究課題決定 6月20日（水）

審査員決定 9月13日（木）

助成対象者決定 10月17日（水）

①責任者 常務理事 中村 治雄
委員

三越診療所所長 船津 和夫、三越診療所副所長 山下 毅、事務局長 加藤 肇

②研究課題の決定

1. 「慢性腎臓病（CKD）と心血管性イベント」
2. 「難治性消化器疾患の先端治療」
3. 「動脈硬化性プラークの研究ーバイオロジーから臨床まで」

③選考会 上記テーマにおける各専門分野医師2名及び当財団医師により選考を行った。選考に当っては応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして評価。総合点により上位を選考し、助成金額案を付して理事長に推薦し決定。

④贈呈式 11月19日(月)に三越日本橋本店6階「三越劇場」にて開催の「第21回健康セミナー」終了後に贈呈式を行い、助成金をそれぞれ交付した。

⑤助成対象者は以下の通り

第35回 三越医学研究助成対象者

氏名	年齢	所属機関	課題 分類	研究課題	助成金
中村 明夫	51	帝京大学医学部 講師	A	副腎ステロイド薬を必要とする小児腎疾患児の肥満予防対策; $\beta 2$ アドレナリン受容体 ($\beta 2AR$)、 $\beta 3$ アドレナリン受容体 ($\beta 3AR$)、脱共役たんぱく質 1 (UCP1) の肥満関連遺伝子多型情報に基づく食事指導と薬部治療による心血管合併症の予防	300 万円
新開 省二	51	東京都老人総合研究所 社会参加とヘルスプロモーション研究チーム研究部長	A	心血管性イベント発生の独立した予測因子としての血清 $\beta 2$ -microglobulin	200 万円
清水 重臣	48	東京医科歯科大学 難治性疾患研究所教授	B	腸管上皮細胞のアポトーシスを標的としたクローン病治療法の開発	200 万円
岡本 隆一	35	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 消化管先端治療学准教授	B	Notch シグナルによる消化管上皮の分化・再生制御機構の解析と炎症性腸疾患に対する粘膜再生療法への応用	250 万円
宮崎 徹	45	東京大学大学院医学系研究 科疾患生命工学センター分子 病態医科学部門教授	C	メタボリックシンドローム時代の新しい動脈硬化治療法の開発ーアポトーシス抑制因子 AIM の機能制御による動脈硬化性プラークの形成抑制	300 万円

(注) 研究課題

- A 慢性腎臓病 (CKD) と心血管性イベント
- B 難治性消化器疾患の先端治療
- C 動脈硬化性プラークの研究ーバイオロジーから臨床まで

(2) 第8回海外留学渡航費助成 (助成金 50 万円)

海外留学を志す若手医学研究者をバックアップする為、留学費用の一部として渡航費の助成を東京都内の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に公募を実施し、合計2件の応募があり、選考委員会による厳正な審査の結果、対象者を下記の通り決定し、医学研究助成と共に贈呈式を行い助成金を交付した。

第8回 海外留学渡航費助成対象者

氏名	年齢	所属機関	留学先	研究課題	助成金
古賀 英之	32	東京医科歯科大学 大学院	オスロ大学 整形外科	滑膜間葉系肝細胞を用いた軟骨再生とその臨床応用に向けた移植方法の開発	50 万円

尚、下記助成対象者は辞退の申し出があり受理した。

吉野 純 慶應義塾大学医学部内科学教室 助成金 50 万円

医学研究助成、海外留学渡航費助成共に、応募対象は東京都内の大学医学部、研究機関、病院等とし、7月2日(月)より公募を開始し、8月31日(金)締め切りまでに各々15件、2件の応募があり、外部審査も含め、選考委員会による厳正な審査の結果、助成対象者を決定した。

第3号事業 総計 事業費 **14,165**千円 予 算 **19,480**千円

4. 健康保持増進のための援助活動（同条第4号事業）

（1）東京都児童福祉施設競技大会

健康の保持増進を目的とした東京都後援の児童福祉施設競技大会に以下の通り寄贈を行った。

①7月31日（火）東京都児童福祉施設競技大会開催

江戸っ子杯ドッジボール大会 於 中央区総合スポーツセンター

- ・主催：社会福祉法人東京都社会福祉協議会
- ・後援：財団法人報知社会福祉事業団、財団法人三越厚生事業団
- ・参加者：20施設 選手300名 応援200名

尚、当事業団よりドッジボール20個、ノート550冊を寄贈した。

②8月1日（水）～2日（木）東京都児童福祉施設競技大会開催

江戸っ子杯野球大会 於 三鷹市大沢総合グラウンド

- ・主催：社会福祉法人東京都社会福祉協議会
- ・共催：社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団
財団法人毎日新聞東京社会事業団
財団法人報知社会福祉事業団
- ・後援：東京都・財団法人三越厚生事業団
- ・参加者：9施設 選手140名

尚、当事業団より野球道具一式15施設分、ノート350冊を寄贈した。

③8月6日（月）東京都児童福祉施設競技大会開催

江戸っ子杯バレーボール大会 於 北区滝野川体育館

- ・主催：社会福祉法人東京都社会福祉協議会
- ・後援：財団法人報知社会福祉事業団
財団法人三越厚生事業団
- ・参加者：15施設 選手150名

尚、当事業団よりバレーボール15個、ノート250冊を寄贈した

（2）三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会

第28回三多摩児童養護施設駅伝・マラソン大会は天候不良の影響により中止となったが、スポーツタオルを各施設へ寄贈した。

- ・開催予定日：平成20年2月11日（月） 建国記念の日
- ・場 所：国営昭和記念公園（立川市）
- ・参加施設：10施設 300名
- ・寄 贈 品：スポーツタオル 300枚

(3) その他協力

援助金を次の通り交付した。

○財団法人日本万歩クラブ（ウォーキング普及活動への援助）	70 万円
○財団法人がんの子供を守る会（小児がん撲滅運動への援助）	10 万円

第4号事業	総計	事業費	1, 714千円	予 算	1, 850千円
-------	----	-----	----------	-----	----------

5. 保健衛生思想の普及（同条第5号事業）

「生活習慣病」をテーマに、新聞等の媒体を介して広く一般の方々から参加を募り、健康セミナー及び健康講座を開催した。

＜平成19年度開催結果＞

回 数：4回（健康セミナー2回・健康講座2回）前年7回（健康セミナー4回・健康講座3回）

参加者数：延べ 1, 052名（前年 2, 133名）

内容は以下の通り。

(1) 健康セミナー・健康講座

①第21回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：5月11日（金） 午後1時15分～3時30分

会 場：新宿京王プラザホテル南館4階「扇」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講 演：演題 「頭痛 ー心配な頭痛・心配でない頭痛ー」

講師 横山 雅子（三越厚生事業団三越診療所医師）

〃：演題 「脈の異常 ー心配な脈・心配でない脈ー」

講師 三田村 秀雄氏（東京都済生会中央病院副院長）

参加者数：367名（定員400名）

②第22回健康セミナーを開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：11月19日（月） 午後2時00分～3時20分

会 場：三越日本橋本店6階「三越劇場」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講 演：演題 「腎臓病から身を守る」

講師 鈴木 洋通氏（埼玉医科大学腎臓内科教授）

参加者数：396名（定員500名）

尚、健康セミナー終了後、第35回医学研究助成並びに第8回海外留学渡航費助成贈呈式と受章者代表中村明夫氏（帝京大学医学部講師）による記念講演が行われた。

③第12回健康講座を開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：7月2日（月） 午後2時00分～3時30分

会 場：八王子市生涯学習センター「クリエイトホール 5階」

主 催：財団法人三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会

第1部講演：演題：「上手な健診の受け方」

講師：本間 優（三越診療所事務統括部長・臨床検査技師）

第2部講演：演題：「心臓の発作を防ぐには 一狭心症・心筋梗塞の症状、
検査、治療、予防について」

講師：近藤 修二（三越診療所医師）

参加人員：182名（定員170名）

④第13回健康講座を開催した。

テーマ：「生活習慣病から身を守るには」

開催日時：平成19年10月19日（金） 午後2時～3時30分

会場：多摩センター百貨店ビル「7階スカイラウンジ」（多摩センター三越7階）

主催：財団法人三越厚生事業団・多摩センター百貨店ビル共同販促実行委員会

後援：多摩市・日本頭痛学会・日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会

テーマ：「気になる頭痛とめまい」

講師：横山 雅子（三越診療所神経内科・日本神経学会認定神経内科専門医・日本頭痛学会専門医・
医学博士）

参加人員：107名（定員170名）

（2）広報活動

①保健衛生思想の普及のため、広報活動を次の通り実施した。

平成19年4月1日～平成20年3月31日 東京メトロ丸の内線新宿駅ホーム内（10月1日よりJR
新宿駅構内）の電飾広告媒体を利用し、生活習慣病予防をテーマに健康診断受診促進をアピールする広告を
掲示した。

②事業年報の作成

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）に実施した集団健診、診療等の統計的調査と観察
成績を「事業年報」第34号に掲載し、職域健康保険組合及び企業関係者、医療関係団体（病院・研
究機関）、関連社団・財団法人等に配布した。

第5号事業	総計	事業費	13,930千円	予算	20,150千円
-------	----	-----	----------	----	----------

6. 診療施設の設置運営（同条第6号事業）

診療患者数延数、職域入社、定期健診延数は次の通りである。

延総数 27,251名（前年度 28,228名）

（1）延数内訳

内科	20,740名（前年度	20,400名）
予防注射	1,257名（前年度	778名）
職域入社・定期健診	4,476名（前年度	4,762名）
新宿区・中野区成人病健康診査	778名（前年度	2,288名）
合計	27,251名（前年度	28,228名）

(2) 種目別内訳とその適用患者数

国民健康保険	8,633 名 (前年度	8,375 名)
社会保険 (政府管掌)	1,745 名 (前年度	1,768 名)
〃 (組合管掌)	9,517 名 (前年度	9,466 名)
〃 (その他)	546 名 (前年度	468 名)
自費	299 名 (前年度	273 名)
職域入社・定期健診	4,476 名 (前年度	4,762 名)
新宿区・中野区成人病健康診査	778 名 (前年度	2,288 名)
計	25,994 名 (前年度	27,400 名)

II 管理・運営事項

1. 理事会・評議員会の開催

①開催日 平成19年 5月 8日 (火)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

議 題 1. 平成18年度事業報告案及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録案審議の件

<理 事 会>

議 題 1. 平成18年度事業報告案及び決算に係る正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録案承認の件

②開催日 平成19年 6月19日 (火)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

議 題 1. 平成18年度収支計算書案審議の件

<理 事 会>

議 題 1. 平成18年度収支計算書案承認の件

③開催日 平成19年 9月27日 (木)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

議 題 1. 理事選任の件

<理 事 会>

議 題 1. 理事長ならびに常務理事互選の件
2. 理事報酬決定の件
3. 退任理事に対する退職慰労金支給の件

④開催日 平成19年11月12日 (月)

<理 事 会>

開催方法 書面表決 (持ち回り方式)

- 議 題 三越臨時株主総会での下記議案に対する当事業団の議決権行使の賛否の件
1. 株式移転による完全親会社設立の件
 2. 定款一部変更の件

⑤開催日 平成20年 3月28日(金)

場 所 株式会社三越本社会議室

<評議員会>

議 題 1. 平成20年度事業計画案及び収支予算案審議の件

<理 事 会>

議 題 1. 平成20年度事業計画案及び収支予算案承認の件

2. 登記事項

資産総額登記 平成19年 6月 4日(月)

理事変更登記 平成19年10月26日(金)

3. 報告事項

- ①外部監査実施 実施日：平成19年 5月17日(木)～22日(火)
監査人：アーク監査法人
- ② " 実施日：平成19年10月 3日(水)～ 5日(金)
監査人：アーク監査法人
- ③ " 実施日：平成20年 2月25日(月)～26日(火)
監査人：アーク監査法人

正味財産増減計算書

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計	内部取引消去
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	120,598,518	120,598,518	0	0
② 特定資産運用益	13,398,367	13,398,367	0	0
③ 事業収益	630,378,120	398,510,322	231,867,798	0
④ 雑収益	32,032,673	31,643,773	388,900	0
⑤ 特別会計からの繰入額	0	6,560,485	0	△ 6,560,485
⑥ 引当金取崩額	0	0	0	0
経 常 収 益 計	796,407,678	570,711,465	232,256,698	△ 6,560,485
(2) 経常費用				
① 事業費	766,421,373	536,900,467	229,520,906	0
② 管理費	97,023,125	97,023,125	0	0
経 常 費 用 計	863,444,498	633,923,592	229,520,906	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 67,036,820	△ 63,212,127	2,735,792	△ 6,560,485
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益	0	0	0	0
② 特定資産売却益	0	552,500	0	0
③ 特定資産評価益	3,961,000	3,961,000	0	0
④ 投資有価証券評価益	0	0	0	0
経 常 外 収 益 計	4,513,500	4,513,500	0	0
(2) 経 常 外 費 用				
① 固定資産除却損	1,426,283	1,426,283	0	0
② 特定資産評価損	22,570,000	22,570,000	0	0
③ 投資有価証券評価損	87,799,500	87,799,500	0	0
④ 一般会計への繰出額	0	0	6,560,485	△ 6,560,485
経 常 外 費 用 計	111,795,783	111,795,783	6,560,485	△ 6,560,485
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 107,282,283	△ 107,282,283	△ 6,560,485	6,560,485
税引前当期一般正味財産増減額	△ 174,319,103	△ 170,494,410	△ 3,824,693	0
法 人 税 ・ 都 民 税	1,794,700	0	1,794,700	0
当期一般正味財産増減額	△ 176,113,803	△ 170,494,410	△ 5,619,393	0
一般正味財産 期首 残高	1,103,675,468	984,772,303	118,903,165	0
一般正味財産 期末 残高	927,561,665	814,277,893	113,283,772	0
II 指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	0	0	0	0
基本財産評価損	△ 6,110,324,912	△ 6,110,324,912	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,110,324,912	△ 6,110,324,912	0	0
指定正味財産 期首 残高	21,797,932,746	21,797,932,746	0	0
指定正味財産 期末 残高	15,687,607,834	15,687,607,834	0	0
III 正味財産期末残高	16,615,169,499	16,501,885,727	113,283,772	0

貸借対照表

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	132,758,792	3,431,501	129,327,291
未収入金	60,783,719	36,740,952	24,042,767
貯蔵品	1,344,651	824,633	520,018
前払費用	12,262,693	8,705,515	3,557,178
流動資産合計	207,149,855	49,702,601	157,447,254
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	15,637,607,834	15,637,607,834	0
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	15,687,607,834	15,687,607,834	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	132,770,050	132,770,050	0
公益事業基金	205,575,000	205,575,000	0
特定資産合計	338,345,050	338,345,050	0
(3) その他の固定資産			
減価償却資産	133,984,126	133,984,126	0
敷金	100,866,144	100,866,144	0
保険積立金	24,725,568	24,725,568	0
投資有価証券	281,426,500	281,426,500	0
その他の固定資産合計	541,002,338	541,002,338	0
固定資産合計	16,566,955,222	16,566,955,222	0
資産合計	16,774,105,077	16,616,657,823	157,447,254
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	6,235,631	5,020,357	1,215,274
未払金	26,000,932	19,066,081	6,934,851
未払消費税等	2,183,700	1,838,343	345,357
預り金	5,066,165	5,066,165	0
役員賞与引当金	1,796,250	1,796,250	0
賞与引当金	24,412,500	15,862,500	8,550,000
未払法人税等			1,794,700
流動負債合計	67,489,878	48,649,696	18,840,182
2 固定負債			
退職給付引当金	81,245,700	55,922,400	25,323,300
役員退職慰労引当金	10,200,000	10,200,000	0
固定負債合計	91,445,700	66,122,400	25,323,300
負債合計	158,935,578	114,772,096	44,163,482

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	診療事業特別会計
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
投資有価証券	21,797,932,746	21,797,932,746	0
投資有価証券評価損益	△ 6,110,324,912	△ 6,110,324,912	0
指定正味財産合計	15,687,607,834	15,687,607,834	0
(うち基本財産への充当額)	(15,687,607,834)	(15,687,607,834)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	927,561,665	814,277,893	113,283,772
一般正味財産合計	927,561,665	814,277,893	113,283,772
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(338,345,050)	(338,345,050)	(0)
正味財産合計	16,615,169,499	16,501,885,727	113,283,772
負債及び正味財産合計	16,774,105,077	16,616,657,823	157,447,254

財 産 目 録

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科 目		
I 資産の部		
1 流動資産		207,149,855
現金預金	132,758,792	
現金手許有高	680,939	
普通預金	130,077,853	
定期預金	2,000,000	
未収入金	60,783,719	
貯蔵品	1,344,651	
前払費用	12,262,693	
2 固定資産		16,566,955,222
(1) 基本財産	15,687,607,834	
投資有価証券	15,637,607,834	
定期預金	50,000,000	
(2) 特定資産等	338,345,050	
減価償却引当資産	132,770,050	
公益事業基金	205,575,000	
3 その他の固定資産	541,002,338	
減価償却資産	133,984,126	
敷金	100,866,144	
保険積立金	24,725,568	
投資有価証券	281,426,500	
資 産 合 計		16,774,105,077
I 負債の部		
1 流動負債		67,489,878
買掛金	6,235,631	
未払金	26,000,932	
未払消費税	2,183,700	
未払法人税等	1,794,700	
預り金	5,066,165	
賞与引当金	26,208,750	
II 固定負債		91,445,700
退職給付引当金	81,245,700	
役員退職慰労引当金	10,200,000	
負 債 合 計		158,935,578
正 味 財 産		16,615,169,499

キャッシュ・フロー計算書

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度
I 事業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税引前当期一般正味財産増減額	△ 174,319,103
2. キャッシュ・フローへの調整額	
① 特定資産売却益	△ 552,500
② 特定資産評価益	△ 3,961,000
③ 減価償却費	13,720,110
④ 固定資産除却損	1,426,283
⑤ 特定資産評価損	22,570,000
⑥ 投資有価証券評価損	87,799,500
⑦ 未収入金の増減額	△ 1,046,968
⑧ 貯蔵品の増減額	89,165
⑨ 前払費用の増減額	427,612
⑩ 買掛金の増減額	117,501
⑪ 未払金の増減額	7,514,631
⑫ 未払消費税の増減額	2,183,700
⑬ 預り金の増減額	1,506,359
⑭ 賞与引当金の増減額	1,402,202
⑮ 退職給付引当金の増減額	11,383,800
⑯ 役員退職慰労引当金の増減額	△ 2,100,000
小 計	142,480,395
3. 法人税等の支払	△ 1,471,100
4. 指定正味財産増加収入	
指定正味財産増加収入計	0
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 33,309,808
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 投資活動収入	
① 特定資産取崩収入	20,893,950
② 特定資産売却収入	150,552,500
③ 投資有価証券売却収入	100,000,000
投資活動収入計	271,446,450
2. 投資活動支出	
① 特定資産取得支出	199,915,000
② 固定資産取得支出	21,099,750
③ 投資有価証券取得支出	100,000,000
投資活動支出計	321,014,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 49,568,300
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV 現金及び現金同等物の増減額	△ 82,878,108
V 現金及び現金同等物の期首残高	213,636,900
VI 現金及び現金同等物の期末残高	130,758,792

(注)1 資金の範囲 資金の範囲には現金預金を含めている。

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券

時価のあるもの……決算期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。

時価のないもの……総平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……先入先出法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物造作……定額法(但し、平成10年3月31日までは定率法)

建物附属設備……定率法

器具備品……定率法

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成19年度4月1日以降に取得した

有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる一般正味財産増減額に与える影響は軽微であります。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

役員賞与引当金……役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付の支出に備えるため、当期末自己都合要支給額を計上している。

役員退職慰労引当金……役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上している。

追加情報……当期より「役員賞与に関する会計基準(企業会計基準第4号 平成17年11月29日)」を適用している。これにより、一般正味財産増減額が1,796,250円減少している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の残高及び増減額は次のとおりである。

(単位:円)

種 類	科 目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
基本財産	有 価 証 券	21,747,932,746	△ 6,110,324,912	15,637,607,834
	定 期 預 金	50,000,000	0	50,000,000
	小 計	21,797,932,746	△ 6,110,324,912	15,687,607,834
特定資産	減価償却引当資産	149,788,000	△ 17,017,950	132,770,050
	公 益 事 業 基 金	228,145,000	△ 22,570,000	205,575,000
	小 計	377,933,000	△ 39,587,950	338,345,050
合 計		22,175,865,746	△ 6,149,912,862	16,025,952,884

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類	科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	有 価 証 券	15,637,607,834	(15,637,607,834)	0	—
	定 期 預 金	50,000,000	(50,000,000)	0	—
	小 計	15,687,607,834	(15,687,607,834)	0	—
特定資産	減価償却引当資産	132,770,050	0	(132,770,050)	—
	公 益 事 業 基 金	205,575,000	0	(205,575,000)	—
	小 計	338,345,050	0	(338,345,050)	—
合 計		16,025,952,884	(15,687,607,834)	(338,345,050)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(1) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物造作	181,352,300	79,982,074	101,370,226
建物附属設備	162,098,865	135,063,797	27,035,068
器具備品	17,057,015	11,478,183	5,578,832
合 計	360,508,180	226,524,054	133,984,126

5. ファイナンスリース取引関係

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

【器具備品】

取得原価相当額 229,241,160

減価償却累計額相当額 112,971,528

期末残高相当額 116,269,632

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年以内 44,785,302

1年超 71,484,330

合計 116,269,632

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料 40,850,253

減価償却費相当額 38,435,600

支払利息相当額 2,414,653

(4) 減価償却費相当額の算定法は定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定法は、リース料総額とリース資産計上額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

6. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位:円)

	前期末	当期末
現金預金	215,636,900	132,758,792
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 2,000,000	△ 2,000,000
預金及び現金同等物	213,636,900	130,758,792

7. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 △ 81,245,700

退職給付引当金 △ 81,245,700

(3) 退職給付費用の内訳

勤務費用 13,406,800

退職給付費用 13,406,800

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当っては、退職慰労金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 過去勤務債務の額の処理年数 1年

収支計算書総括表

平成20年3月31日現在

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	120,598,518	120,598,518	0	0
② 特定資産運用収入	13,398,367	13,398,367	0	0
③ 事業収入	630,378,120	398,510,322	231,867,798	0
④ 雑収入	32,032,673	31,643,773	388,900	0
⑤ 他会計からの繰入金収入	0	6,560,485	0	△ 6,560,485
事業活動収入計	796,407,678	570,711,465	232,256,698	△ 6,560,485
2. 事業活動支出				
① 研究事業費支出	4,584,028	4,584,028	0	0
② 低額集団健診事業費支出	481,056,267	481,056,267	0	0
③ 健診報告懇話会事業費支出	930,975	930,975	0	0
④ 健診推進事業研究援助費支出	2,040,760	2,040,760	0	0
⑤ 助成事業費支出	14,165,546	14,165,546	0	0
⑥ 健康保持増進援助事業費支出	1,714,985	1,714,985	0	0
⑦ 保健衛生思想普及事業費支出	13,930,554	13,930,554	0	0
⑧ 管理費支出	96,713,758	96,713,758	0	0
⑨ 診療事業費支出	223,901,513	0	223,901,513	0
⑩ 他会計への繰入金支出	0	0	6,560,485	△ 6,560,485
⑪ 法人税等	1,794,700	0	1,794,700	0
事業活動支出計	840,833,086	615,136,873	232,256,698	△ 6,560,485
事業活動収支差額	△ 44,425,408	△ 44,425,408	0	0
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	20,893,950	20,893,950	0	0
② 特定資産売却収入	150,552,500	150,552,500	0	0
③ 投資有価証券売却収入	100,000,000	100,000,000	0	0
投資活動収入計	271,446,450	271,446,450	0	0
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	199,915,000	199,915,000	0	0
② 固定資産取得支出	21,099,750	21,099,750	0	0
③ 投資有価証券取得支出	100,000,000	100,000,000	0	0
投資活動支出計	321,014,750	321,014,750	0	0
投資活動収支差額	△ 49,568,300	△ 49,568,300	0	0
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	△ 93,993,708	△ 93,993,708	0	0
前期繰越収支差額	259,862,435	112,705,363	147,157,072	0
次期繰越収支差額	165,868,727	18,711,655	147,157,072	0

I. 収支計算書(一般会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	91,317,709	3,431,501
未収入金	34,210,053	36,740,952
貯蔵品	1,039,668	824,633
前払費用	9,133,127	8,705,515
小計	135,700,557	49,702,601
買掛金	4,139,874	5,020,357
未払金	15,295,514	19,066,081
未払消費税等	0	1,838,343
預り金	3,559,806	5,066,165
小計	22,995,194	30,990,946
次期繰越収支差額	112,705,363	18,711,655

II. 収支計算書(特別会計)に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、貯蔵品、前払費用、買掛金、未払金、未払消費税等、未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	124,319,191	129,327,291
未収入金	25,526,698	24,042,767
貯蔵品	394,148	520,018
前払費用	3,557,178	3,557,178
小計	153,797,215	157,447,254
買掛金	1,978,256	1,215,274
未払金	3,190,787	6,934,851
未払消費税等	0	345,357
未払法人税等	1,471,100	1,794,700
小計	6,640,143	10,290,182
次期繰越収支差額	147,157,072	147,157,072